

2013アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [沖縄尚学高等学校・附属中学校] 担当教諭名 [上野 浩司] (3年4組 32名)

交流相手国 [カタール]

海外学校名 [Abdul Rahman bin Jassim Preparatory Independent school] 担当教諭名 [Osama Rashwan]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	ホームルーム		15

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	あなたの国、私の国
絵に込めたメッセージ	カタールへのあこがれ



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
カタールという国は名前しか知らなかった生徒達が、まずは地図でその場所を見つけ、私が撮ってきたカタールの写真を見て、日本以上に近代的なビルが建ち並ぶのに驚いた。 中東の国は、日本に比べて遅れているというイメージが子どもたちにはあるが、それが大きく変わった。	行事に時間を取られ、当初の予定通りに進めることが出来なかった。 先方の都合と時差の関係で、テレビ会議が出来なかったのが残念です。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
子どもたちが絵を描いている様子を見て、他のクラスの子どもたちが「いいな」「やってみたい」と口々に言っていた。できればやってみたいという教師達もいた。	全職員が通る場所に教室があるので、教室で絵を描いている様子を多くの教師が見ていた。 保護者には、メールで写真を送っていたが、家庭で子どもが楽しそうに絵の話をしています、と言われた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	4月	アートマイルに参加することがクラスで決定 交流先がカタールに決まる	カタールってどこ、と地図を見る	ホームルーム
情報収集	6月 ～ 10月	沖縄の写真全員が持ち寄ってカタールに送る	皆が、それぞれ撮影した写真を持ち寄り、それぞれの写真を見て、批評しあう	ホームルーム
テーマ検討	11月	行事が重なり、深い話し合いが出来なかったが、	カタールという国を知って、非常に驚く	ホームルーム
制作	11月 ～ 12月	カタールの写真を見て、絵の得意な生徒が下描き 全員で絵の具塗り	建物の形、砂漠の色、ラクダの色、それぞれ今まで気に留めなかったものをひとつずつ確認	ホームルーム
鑑賞		残念ながら、先方から送られてきたのが、卒業式の後で、全体での鑑賞が出来なかった。	カタール側の絵の緻密さに感動したが、沖縄の絵でなく、日本の絵だったのが残念。	ホームルーム

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	4	先方にどんな写真を送ったら、一番沖縄を理解してもらえるか話し合い、その中で理解が深まっていった。
異文化の理解	A	4	カタールについて調べることで、イスラムの文化について理解が深まった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	2	先方からほとんど連絡が来なかったために、こちらから発信することがほとんど出来なかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	カタールについて、調べて、生徒同士で説明し合い、共有することから情報収集・活用するチャンスとなった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	4	先方と交流することは出来なかったが、クラス内で話し合い、意見交換する機会が増えた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	全員で絵を描きあげた。絵の具を混ぜて色を作る、色や塗り方について、協力し合うなど協働の場面が見られた。
学習を追究する意欲	B	2	学習としては、あまり力が付いていないように感じる。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	3	もう少し絵の下絵を考える時間を取り、どうしてこの絵を描くのか、何を表したいのか、検討するべきだった。
作品を鑑賞する力	B	3	郵便事故があり、届くのが遅くなって、全体で見る時間が取れなかった。